

令和8年度 第1回小田原市海面の利用調整に関する懇談会 議事概要

【日時】 令和8年6月29日(月)午後3時30分～午後4時15分

【場所】 小田原市公設水産地方卸売市場 2階会議室

【出席者】 別紙名簿のうち、次の欠席者を除く（欠席 加藤秀一氏、渡邊 芳明氏）

1. 懇談会 概要

昨年度に引き続き、酒匂（さかわ）地区における海面利用の実態や安全対策、ルール・マナーの啓発方法について、関係各機関（行政・海上保安庁・水産・レジャー団体等）が集まり意見交換を行いました。

2. 前回の振り返りと、反映させた啓発内容について

【前回（小田原・早川地区等）の振り返り】

- **場面別の注意喚起：** 海に出る前・出た後の状況に応じて注意事項を整理。「日の出前の出艇禁止」「河口付近のエントリー回避（流され事故対策）」「リーシュコードの着用」などを盛り込んだ。
- **風速表記の判断：** 「風速5メートル以上は危険」という具体数値を書く案もあったが、状況により危険度が変わるため、あえて具体的な数値の記載は避ける方針とした。

3. 啓発案についての主な修正・意見交換内容

【酒匂地区「利用マナーブック（案）」のブラッシュアップ】

対象セクション / 委員からの意見・提案	事務局の対応・方向性
サーフィンに関する記述 「沖に行きすぎず」「波打ち際で」等の表現はサーフィンの特性上当然のことで記載不要。リーシュコードの徹底だけで十分。	指摘を承知し、該当の表現（地図上の簡易表現含む）は削除する方向で検討。
網の設置エリア表示 地図上のピクトグラムを消すと「網がない」と誤解される恐れがある。	ピンポイントではなく、矢印等を用いて「全域に可能性あり」とマップに明示する事を検討。

主語の明確化（認識旗） 「認識旗を高く掲げましょう」の主語が曖昧である。	「サップ、カヤック、ミニボートは」と主語を明確にする。
シーマンシップに関する記載は、最初の心構えとして持っておくべきことなので、冒頭に持ってくるべき。	「海に出る前に」よりも前に記載することを検討する。
しらす船曳網漁は後ろに長い網を引いている。魚群を探している時だけでなく網を引いている時に近づくとは危ない。	引いている網の危険性を簡潔に記載する。
マナーブック上に刺網の入りの図解等も入れるべき。	空いたスペースを利用し、ホームページに掲載している各種図解を追加する。
地図の記載方法について小田原・早川地区の例に習い、北側を上方向に記載するか、方位を示すマークを記載した方がわかりやすい	海岸線が斜めになってしまうため、再度配置してみても修正を検討する。

4. 最近の現地の状況・課題（情報共有）

- **利用者の動向：** 平日の朝早くはサップ等が多いが、7時～7時半を過ぎると急激に減る（仕事前に釣りをしていると思われる）。週末は日中も非常に多い。
共同漁業権の海岸から1200mをはるかに超える沖まで出てきているサップ等を見かけて、海況の急変時に戻れるのか心配である。
- **ゴミ・残骸の増加：** 月1回の海岸清掃において、最近「釣り糸（仕掛け）」「釣り具のパッケージ」が目立つ。新しい層の利用者が増えている印象。浜からの釣り人だと思われる。
- **バーベキューの放置：** この時期特有の課題として、バーベキューのゴミのやりっぱなしが散見される。

5. 今後のスケジュール案の共有

- 令和8年7月中： 今回の修正意見の収集・反映（メール・電話等で追加修正を受付）
- 令和8年8月中： 確定版の共有、市ホームページの更新
- 令和8年12月末まで： 酒匂地区の啓発チラシの作成・印刷
- 令和9年1月頃： 小田原・早川地区のその後の状況確認（フォローアップ）
- 令和9年3月末まで： 酒匂地区への啓発看板の設置